

業務速報

平成28年度昇格計画数について業務委員会開催

C等級にもB年限を設けよ！

不合格の具体的理由を説明をすること！

努力しても報われない新人事・賃金制度を改めろ！

本部は5月26日、平成28年度昇格計画数について業務委員会を開催しました。

会社は、冒頭平成28年度の昇格数を決めた根拠の説明をし、「昇格数は4,270名である。昇格試験のスケジュールの若干の変更した。試験内容は例年通りである。昨年より、等級により有資格者数は若干ばらつきがあるが、トータルではほぼ昨年と同じである」「合格者数は概ね4割である」と具体的内容を説明しました。

本部は「努力していない社員はいない。しかし昇格試験合格率が概ね4割では、合格できない社員も出てくる。グループリーダー等経験のある目立った受験者しか合格できない。合格できなかった理由を不合格者に説明すること。定期昇給額が逡減し、モチベーションが下がる。C等級に昇格資格のB年限を設定すること。新人事・賃金制度は問題があるため見直すこと。組合所属で合否の差別があるのではないかなど主張しました。

会社は「合格するためには、日頃の管理者の指導や指摘を適切に受け入れることだ。昇格試験は公正・公平に実施している。平成18年度からの新人事・賃金制度の運用に問題があるとは考えていない」などと主張し、意見が対立しました。

会社説明と議論内容は以下の通りです。会社資料は5ページ以降を参照して下さい。

<会社説明>

平成28年度の昇格計画数は、有資格者数の変動、ポストに対する必要数の変動、有資格者における等級経過年数の変動、これらに加えて社員の意欲、中長期的な需給を勘案して会社として適切に定めた。昨年と比してJ2、J3が減少しているが、採用数の減が影響している。日程に若干の変更はあるが、試験の実施方法は別紙1. 別紙2. に示したとおり昨年と変わりはない。

具体的に昇格試験不合格の理由を説明すること！

組合：昨年度の昇格数は何人か。

会社：昨年の4,200人はほぼ計画どおり昇格した。数は明らかにできない。

組合：有資格者数に対する合格者の割合は何割か。
会社：昨年と同じ約4割である。
組合：受験者数は何人か。
会社：資格があっても受検しない人もいる。数は示さない。
組合：受検しない人はどうして受検しないのか会社は考えているのか。
会社：社員の事情がある。受験は強制するものではない。
組合：受検しない人には、積極的に受験を進めないのか。
会社：職場によっては、点呼で説明したり、個別に有資格者に話していることはあるが、受験はあくまでも本人の意志である。社内誌のオレンジや掲示を利用して、試験については明らかにし周知している。
組合：不合格の場合の筆記試験や人事考課について理由を説明すること。
会社：理由を説明して、例えばここが足りなかったと説明しても次回は必ず合格するものではない。受験者の相対評価となるからである。
組合：しかし、それでは共通試験のどこが悪かったのか解らない。専門試験のどこが悪かったのか、何を努力すれば合格するのか解らない。
会社：次につながる様な材料は職場で言っている。結果の中で自覚できることもある。
組合：昇格試験の可否は生活の糧に関わるものである。昇格の意欲を促すのであるならば、試験の点数も明らかにすべきである。
会社：試験の点数は公表しない。不断のコミュニケーションの中で改善をしていくことである。
組合：現場長は、不合格となった理由を知っているのか。
会社：可否の判断は鉄事や事業本部でおこなっている。
組合：現場長は判断ができないのではないか。
会社：普段業務で行っていることを管理者が鉄事や事業本部に適切に伝えていく。管理者の指導や指摘を適切に受け入れることだ。

今年度合格しなければ定期昇給はたったの400円！

組合：B年限の不合格者を明らかにすること。
会社：数は明らかにできない。
組合：今年度B年限に達している数は何人か。
会社：J 1等級からS 2等級までの中に60人いる。
組合：C 1等級へのB年限は設けないのか。
会社：C 1 C 1等級は、助役の補佐等、S 3等級以下と職責が違うためB年限は設ける考えはない。
組合：制度が運用されて以降一度も昇格試験に合格しなければ来年は400円(基準昇給額が100円の乗数4の場合)になってしまう。生活の負担になる。また、努力しようとするモチベーションが下がってしまう。

会社：昇給額はゼロにはならない。定期昇給は最低限確保している。人事・賃金制度に基づいて適切に運用している。

組合：新人事・賃金制度の運用開始から一度も合格していない人は何人か。

会社：人数は明らかにしない。合格していない人がいることは認識している。

組合：何故明らかにしないのか。

会社：詳細は明らかにしない。

組合：制度の開始時点で、一度も昇格試験に合格しない人は想定内か想定外か。

会社：理論上は出てくることがある。

組合：努力したものが報われる制度であると会社はこの間主張していたが、努力をしても報われない制度である。労働組合の所属による可否の判断はあるのか。

会社：公正公平に判断している。

異なる業務内容・異なる業務量・異なる現場長 昇格試験の合格基準は何か！

組合：C 1 等級 C 2 等級への合格の判断はどの様にしているのか。例えば、新幹線の運輸所や在来線の駅の場合は、業務内容も対応するお客様の数も違う。どの様な基準で可否の判断をしているのか。また、現場長も運輸所と駅またはそれぞれの職場の現場長とでは判断も異なるのではないのか。どの様に可否の判断をするのか。

会社：総合的判断である。全てが同じ試験を受験して、同じ業務を行っているのであるならばよいが。

組合：だから、B年限を設けるべきである。

組合：C 1 等級 C 2 等級は、助役の補佐をすること、S 3 等級以下とでは責任感が違うからB年限を設けないと主張してきているが、日々の業務を着実にこなし、安全・安定輸送を続けてきていることが一番の会社に貢献である。事故もなく長年勤めて職場での信頼が厚いことが、後輩の見本となるものである。C 等級への受験資格であるB年限を設けること。

会社：主任職は、それだけではない。職場のチームリーダーとしての経験も必要であり、助役の補佐をすることとなる。その様な判断もある。

組合：チームリーダーをすることで、目立つことをしないとC 等級の主任にはなれないこととなる。助役の補佐とは、チームリーダーをすることもあるが、業務の中でさまざまな事柄があり、ここまでの助役の補佐という白黒が付けられるものではない。

会社：チームリーダーだけではない。色々な角度で見ていく。

組合：長年の努力を認め、C 1 等級の昇格試験にB年限を設けること。

努力しても報われない人事・賃金制度だ！

組合：合格者の鉄事や事業本部ごとのばらつきはあるのか。

会社：ばらつきはないと考える。

組合：今年のL等級の昇格者数は720人、昨年は730人合格者のが多いが何故か。

会社：退職者の穴埋めである。

組合：今年度は、C 1 等級が70人多いが、C 2 等級は70人少ないが何故か。有資格者の数の増減があるからか。

会社：説明したとおり、有資格者数、ポストに対する必要数の変動、有資格者における等級経過年数の変動等、全体を見て決定をしてきた。

組合：努力した人が報われる人事・賃金制度と会社は言うが、努力していない人はいない。組合は、努力しても報われない人事・賃金制度であるという認識である。人事・賃金制度を改善すること。

以 上

平成 28 年度昇格計画数について

平成 28 年 5 月 26 日

東海旅客鉄道株式会社

昇格計画数は、次のとおりとする。

等級	昇格計画数
L 3 等級へ	約 250 人
L 2 等級へ	約 170 人
L 1 等級へ	約 300 人
C 2 等級へ	約 380 人
C 1 等級へ	約 560 人
S 3 等級へ	約 740 人
S 2 等級へ	約 740 人
S 1 等級へ	約 570 人
J 3 等級へ	約 360 人
J 2 等級へ	約 200 人
計	約 4,270 人

平成 28 年度昇格試験の実施について

平成 28 年 5 月 26 日
東海旅客鉄道株式会社

平成 28 年度の昇格試験のスケジュール等は、次のとおりとする。

1. 実施時期

	昇格試験 A	昇格試験 B	昇格試験 C
受験申込受付期間	8/1～8/8		
筆記試験実施期間	9/2～9/9	9/2～9/9 (医療社員除く)	—
面接試験実施期間	10/17～11/25	9/2～10/14 (医療社員のみのみ)	—

注. L 3 等級への昇格試験 A (面接試験) は 12 月以降に実施する。

注. 上記日程は、都合により変更することがある。

2. 実施方法

昇進規程第 12 条によるほか、別紙のとおりとする。

(別紙1)

等級	試験種別及び試験内容 (非現業及び事務職名にある者)		試験種別及び試験内容 (事務職名を除く現業職名にある者)		試験種別及び試験内容 (医療社員)	
I3等級	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課
I2等級	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課
I1等級	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通・論文+専門) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通・論文+専門) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課
C2等級	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通・論文+専門) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課
C1等級	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+論文) ・人事考課	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+専門) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通・論文+専門) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課
S3等級	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課
S2等級	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課
S1等級	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+論文) ・人事考課	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+専門) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課
J3等級	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課
J2等級	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課
J1等級	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課

○出題範囲

- ・筆記試験(共通)においては、時事に関すること(社会知識)及び会社に関すること(会社知識)を問う。
- ・筆記試験(専門)においては、業務に関すること(専門知識)を問う。
- ・面接試験においては、社会知識、会社知識、専門知識を問う。
- ・I1等級及びJ3等級への昇格試験Aにおいては、上記各項目に加え、経営理念、経営戦略・施策、国鉄改革の歴史、労使関係の基礎、就業規則及び財務等に関する知識を問う。(社内通信研修テキスト(Ⅲ)にまとめられている。)
- ・上記の出題範囲に関する教材の詳細は、(別紙2)を参照すること。

○その他

- ・「共通試験(論文を除く)」、「専門試験J」については、ワーキング方式で行う。
- ・受験等級・受験系統ごとに指定された社内通信研修を修めている場合は、専門試験が免除となる。
- ・昇格試験Aにおける面接試験は、筆記試験合格者に対してのみ実施する。

■共通試験 教材一覧

	受験等級等			
	S1等級	C1等級	L1等級	L3等級
JR東海誌	○	○	○	○
おれんじ	○	○	○	○
就業規則	○	○	○	○
社内通信研修 共通(Ⅲ)			○	○

※「JR東海誌」、「おれんじ」の出題範囲は概ね過去1年分とする。

※時事に関すること(社会知識)の出題については、特に教材はない。

■専門試験 教材一覧

運輸 (駅・車掌・運転士)	受 験 職 名 等						社内通信研 修との併用
	運輸／在来			運輸／幹線			
	S1等級 指導係等	C1等級 主任	L1等級 助役	S1等級 指導係等	C1等級 主任	L1等級 助役	
まごころ英会話	○	○	○	○	○	○	
JR時刻表	○	○	○	○	○	○	
営業(Ⅰ)	○			○			○
営業(Ⅱ)		○	○		○	○	○
在来線運輸(Ⅰ)	○						○
在来線運輸(Ⅱ)		○	○				○
新幹線運輸(Ⅰ)				○			○
新幹線運輸(Ⅱ)					○	○	○

車両	受 験 職 名 等						社内通信研 修との併用
	車両／在来			車両／幹線			
	S1等級 車技	C1等級 主任	L1等級 助役	S1等級 車技	C1等級 主任	L1等級 助役	
在来線車両(Ⅰ)	○						○
在来線車両(Ⅱ)		○	○				○
新幹線車両(Ⅰ)				○			○
新幹線車両(Ⅱ)					○	○	○
在来線電車構造編		○	○				○
気動車構造編		○	○				○
313系在来線電車構造編		○	○				○
700系新幹線車両構造編					○	○	○
N700系新幹線車両構造編					○	○	○

施設(保線・土木)	受 験 職 名 等									社内通信研 修との併用
	保線／在来			保線／幹線			土木			
	S1等級 施技	C1等級 主任	L1等級 助役	S1等級 施技	C1等級 主任	L1等級 助役	S1等級 施技	C1等級 主任	L1等級 助役	
在来線保線(Ⅰ)	○									○
在来線保線(Ⅱ)		○	○							○
新幹線保線(Ⅰ)				○						○
新幹線保線(Ⅱ)					○	○				○
土木(Ⅰ)							○			○
土木(Ⅱ)								○	○	○

電気(電力・信号通信)	受 験 職 名 等												社内通信研 修との併用
	電力／在来			電力／幹線			信号通信／在来			信号通信／幹線			
	S1等級 電技	C1等級 主任	L1等級 助役	S1等級 電技	C1等級 主任	L1等級 助役	S1等級 電技	C1等級 主任	L1等級 助役	S1等級 電技	C1等級 主任	L1等級 助役	
在来線電力(Ⅰ)	○												○
在来線電力(Ⅱ)		○	○										○
新幹線電力(Ⅰ)				○									○
新幹線電力(Ⅱ)					○	○							○
在来線信号通信(Ⅰ)							○						○
在来線信号通信(Ⅱ)								○	○				○
新幹線信号通信(Ⅰ)										○			○
新幹線信号通信(Ⅱ)											○	○	○
工事契約の基本			○			○			○			○	○